

と、開業医については廃業後も医師会員として残ってもらうための取り組み、③会費減免と、会費減免終了後に医師会に残ってもらうための取り組みについて、ぜひご検討いただき、取り組みを進めていただきたい。



その後、事務局から北海道内の医師会組織率の現状を報告し、組織強化に向けた具体的方策について協議を行った。各医師会からは、日ごろから顔の見える関係を構築することが組織強化につながる等の意見があった。



北海道医師会の会員数は減少傾向にあり、特に日本医師会への入会者の減少が大きい（筆者が執筆した『北海道医報第1242号（令和4年3月1日）指標「道内医師の日医入会率とその向上に向けて」」を参照いただきたい）。

医師会の組織強化は、喫緊の課題として取り組むべき最重要事項であり、特に、会員数の確保は早急な対応が必要である。日本医師会においては、令和5年度より、卒後5年目までの会費の減免が始まり、

当会においても、この機会を医師会員加入拡大の好機と捉え、同様に令和5年度から卒後5年目までの会費減免を実施する。また、本年3月には当会会員のうち、日本医師会未加入者（約2,400名）に対し加入勧奨を行ったところである。

今回の協議会をきっかけとして組織強化に関する意識が各郡市・医育機関医師会とで共有され、今後の医師会組織強化につながれば幸いである。各医師会には、今まで以上にご尽力をお願いしたい。



【会場の様子】

北海道医報へのご投稿等について

◇広報委員会◇

北海道医師会では、会員の皆さまから「学術投稿」「会員のひろば」等各種原稿を下記要領にて募集しております。ぜひともご投稿いただきたくお願い申し上げます。

なお、写真作品のご投稿につきましては、ホームページに「フォトギャラリー」を設けておりますので、ご応募ください。

投稿要領

1. 原稿の締切

毎月5日までにいただいたものは原則として翌月号に掲載となります。ただし、「会員のひろば」については、受付状況により掲載号を決定します。

できるだけメール等の電子メディアでお寄せください。

2. 原稿の体裁と字数制限

(1) 原則として横書きといたします。

(2) 引用文以外は、すべて常用漢字、現代かなづかいを使用してください。

(3) 誤字、脱字、明らかな間違い等は広報委員会において訂正いたします。

(4) 1回の掲載紙面は、原則として「学術投稿」は2頁、「会員のひろば」は1頁を限度とします。

医報1頁は約2,200文字です。ただし、タイトル、写真、図表等を含んでおりませんのでご考慮ください。

(5) 長文原稿および連載物は、広報委員会にて採否決定の上で分割掲載、掲載号等を決めさせていただきます。

3. 原稿の訂正、返却

次の場合は、広報委員会の決定に基づき、執筆者に対し訂正を求めるか、または返却いたします。

(1) 特定の個人・団体を誹謗、中傷する内容

(2) 匿名の投稿

(3) 本誌以外に既掲載のもの、あるいは投稿中のもの（二重投稿）

ただし、特に必要と認められる場合はこの限りではない

(4) その他掲載に支障がある内容

4. ホームページへの掲載

特にお申し出のないかぎりホームページに掲載されますので、予めご了承ください。

連絡先：北海道医師会事業第一課
TEL 011-231-7661 FAX 011-241-3090
E-mail：ihou@m.douji.jp